



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。感染症も落ち着いた状況となり、各保育・教育現場では、様々な活動が再開されてきています。今年については残暑が厳しい中でも、子ども達は元気に活動し、地域の方々にも多くの場面で関わっていただいているところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

伝統文化に触れてうっとり♪

9月19日、20日に清水神社の秋の例大祭である秋祭りが数年ぶりに行われました。

1日目の夕方には、なんとお囃子がこども園まで来てくださり、目の前で太鼓や笛の演奏を聴かせていただきました。素敵な音色にうっとり



りとしていた子どもたち。演奏者の中にはこども園の友達のお姉さんもおり、「すごい!」「かっこいい〜!」と憧れの気持ちをもって真剣に見ていましたよ。

2日目には神社の参道前から始まる豪華なお神輿やお囃子の練り歩きを見学する事ができました。コロナ禍が明けて、子どもたちにとっても地域の人たちや伝統





も元気づけられた事と思います。もちろん、「昨日くじ引きしたよ!」「たこ焼き食べたの!」とお祭りの出店も満喫したようです。

行事に触れられる良い機会となりました。

子どもたちの笑顔で地域の人たち



御影こども園

おみこし わっしょい!! 秋まつり



9月11日と12日は御影神社の秋祭りの日です。今年度は久しぶりにこども神輿（こども園手作りのものです）で御影こども園の子ども達（3歳以上児29名）も参加しました!

初めてお神輿を引く子どもたちは、御影支所に保管されてい

るお神輿を取りに行った時から「わっしょい! わっしょい!!」と張り切っていました。

当日は、天候もよく（じりじりと暑いくらいでしたが）、町民の方々や保護者の方々のあたたかな声援をいただきながら 御影本通りを元気な声で力強くお神輿を引くことができました。収穫の感謝と翌年の豊作を祈願する秋祭り、次回も無事に参加できますように…。



清水小学校

地域で育てた、ひまわりの花を写生しました！

清水公園の国道38号線側に、「ひまわりの絆」という、ひまわり畑があります。ここは、ひまわりの絆プロジェクトの方が、過去に交通事故で亡くなった児童（他市町村）が大好きだったひまわりを、この場所に毎年育てて在りし日を偲び、悲しい交通事故を二度と起こさないようにしようという思いを発信している場所です。

本校2年生の子どもたちは、8月下旬に、ひまわりの絆プロジェクトの皆さんからいただいた花を、よく観察したり時には触ったりしながら、多角的な角度から大きく元気に描きました。黄色い色合いやバランス、等に気をつけながら、立派な作品に仕上げることができました。

また、その作品を鑑賞するために新得警察署の警察官が、後日、学校を訪れ、子どもたちに「頑張ったね！」「上手だね！」と声をかけてくださいながら、一人一人の児童が描いたひまわりを、時間をかけて見ていただきました。

子どもたちには、ひまわりを描き、交通事故の悲惨さに改めて気づくことで、自分の命をしっかりと守る行動ができる子に育てて欲しいと思います。



御影小学校

笑顔の秘密たんけんたい

「笑顔の秘密たんけんたい」は2年生生活科の学習の一環です。地域のお店等の仕事の様子を見せてもらったり、インタビューをさせてもらったりすることで、働いている人たちの人柄や仕事に対する思いや生き方に触れ、地域のことを更に知ることを目的としています。この日は4つに分かれて探検に行きました。

真浄寺グループは、本堂で待っていてくれた住職さんに挨拶。用意していた質問に、子ども達にもわかるようにやさしい口調で話していただきました。子ども達はもちろん、担任も学ぶ内容が多く、充実した時間となりました。

セイコーマートグループは、店員さんに大きな声で挨拶をし、はっきりとインタビューすることができました。「先生、お勧めのお弁当がわかったよ!」「ジュースを入れる秘密の部屋に入ることができたよ!」と興奮気味に話してくれました。郵便局グループは、郵便局長さんが対応してくださいました。「郵便ポストの中を見せてください。」という難しい要望にも、ハガキを別の場所に保管して対応してくださいました。

じゅん&まきグループもはっきりした声で挨拶やインタビューができました。パン作りの工程を教えてください、人気のパンの内容を教えてくださいと予想を超えた情報に大満足でした。



地域の皆様のご協力のもと、たくさん経験することができました。ご協力していただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。次に探検に行く、こども園、若原美術写真館、いとう電気、交番でどんな発見があるのでしょうか。楽しみにしている子ども達でした。



清水中学校

防災学習・・・大切なものを守る準備を

9月1日は防災の日です。この日にあわせて、防災学習を行いました。

9月1日（金）は北海道シェイクアウトに参加し、9月7日（木）と8日（金）には、清水町役場総務課防災担当の宇都宮主幹を講師にお招きして、防災意識を高めるゲームを行いました。昨年に続いての実施となります。

1年生はクロスロードを行い、2年生と3年生は避難所運営ゲーム（Dōはぐ）を行いました。当日は5～7人のグループをつくり、災害時に迫られるさまざまな「選択」を体験し、防災について自分の事として考えました。

日本は自然豊かで美しい国ですが、その自然が災害となって私たちの生活を脅かすこともあります。いつくるか分からないその時に備え、災害時の対応を自分事としてとらえ、どう行動するかを考えることが必要です。ゲームを通じ、アクティブに考え、自分とは異なる意見に耳を傾けることで、多くの気づきや学びを得られる機会となりました。ご協力いただき、ありがとうございました。



御影中学校

1日防災学校～2学年「HUG」で防災を考える～

「2学年HUG（避難所運営ゲーム）」

防災教育の一環として、「1日防災学校」の日を設定しており、今年度は、9月1日（金）を防災の日とし、全校避難訓練と2学年のHUG（避難所運営ゲ

ーム)を行いました。

3・4時間目、HUG（避難所運営ゲーム）の講師として、清水町役場総務課の宇都宮主幹をお迎えし、災害が起こったとき、本校に避難所を開設する想定で学習を進めました。様々な事情をかかえた避難者



のカードを、体育館や教室の図面上に配置、起こりうる状況を想定しながら対応を考える等、避難所での様々な出来事を模擬体験するゲームに真剣に取り組みました。



◇御影地区小中学校作文朗読意見発表大会



9月7日（木）、御影公民館において御影地区の小中学校代表者による、作文朗読・意見発表大会が開催されました。

生徒たちは、日頃感じていること、自らの体験を通しての主張等を発表する機会をいただき、多くの地域の皆様の前で、堂々と発表することが出来ました。

